

I 患者にとって最適な医療の提供

3. 断らない救急の実現

法人本部	総合医療センター	西和医療センター	総合リハビリテーションセンター
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県消防救急課よりH25年度データの提供を受け、現状分析、課題抽出、対応検討 ・ 3病院合同部門別会議(経営改善)にて、共通項目の現状報告と課題への対応について協議 ・ 人材の確保と3センター連携の支援 	<p><救急車受け入れ件数> 1,760件 → 2,000件 (H24)</p> <p><時間外救急患者数> 7,159件 → 7,500件 (H24)</p> <p><心筋梗塞・狭心症・慢性虚血性心疾患受入患者数> 377人 → 400件 (H24)</p> <p><脳卒中受入患者数> 302人 → 330人 (H24)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急隊との円滑な連携を図るため、常に、リアルタイムのE-MATCH(救急医療管制支援システム)受入可否情報を提供 ・ 独自に救急搬送データを集積 ・ 救命救急センターとER(救急外来)の役割と機能を統合、ルールに沿って搬送された患者すべてに対応可能な体制を検討 ・ 救急科にトリアージナース(救急医療で患者の重症度・緊急度を判断する看護師)を配置するなどER(救急外来)のトリアージ(治療の優先度判定)機能を充実 ・ トリアージナース(救急医療で患者の重症度・緊急度を判断する看護師)の育成、教育 ・ トリアージ(治療の優先度判定)の結果、地域の医療機関で分担できる患者の逆紹介 ・ 救命救急センターの病床利用率 67%以上 ・ 緊急対応を含め、外科治療を要する患者に対する手術体制を構築 麻酔科医と手術室看護師の確保、養成 周術期管理チーム認定看護師の資格取得を支援 手術室業務、特に看護業務に対する多職種の協働を推進 	<p><救急車受け入れ件数> 2,147件 → 2,300件 (H24)</p> <p><時間外救急患者数> 6,242件 → 6,350件 (H24)</p> <p><心筋梗塞・狭心症・慢性虚血性心疾患受入患者数> 634件 → 700件 (H24)</p> <p><脳卒中受入患者数> 253件 → 275件 (H24)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急外来の整備 ・ 総合診療/救急部創設 ・ 救急医の確保 ・ 救急・集中ケア等の専門・認定看護師の計画的育成の検討 ・ 後期・初期研修医の確保 ・ 救急受入検証のシステム化(委員会の設置) ・ 医師の当直翌日の勤務形態の改善(半日勤務) ・ 複数主治医制の導入 ・ CPA(心肺停止)・心臓疾患・脳卒中・急性腹症の積極的な受入 ・ ハイブリッド手術室(手術台と心・脳血管X線撮影装置を組み合わせた治療室)の設置を含めた手術室の整備を検討 ・ 重篤な循環器系救急患者の受入 ・ 脳卒中中の24時間早期治療体制の充実 ・ 320列相当の心臓CT及び最新の心臓超音波機器の整備 ・ カテーテル治療(体腔や血管内に中空の管を挿入して行う検査や治療)室の増設の検討 ・ 集中治療部門・救急外来及びカテーテル治療(体腔や血管内等に中空の管を挿入して行う検査や治療)部門の電子化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元消防本部との連携を強化するなど救急体制を充実し、骨折などの救急患者の受入れを拡大